

荒木一

あらき・はじめ

藩校誠之館算術教授

経歴

生:天保4年(1833年)

没:明治20年(1887年)2月26日、享年54歳、通安寺に葬る

—	—	藩校誠之館算術教授
文久2年(1862年)12月13日	29歳	算術引立および洋学肝煎
文久3年(1863年)12月3日	30歳	算術世話取
明治維新後	—	自宅(現昭和町8番あたり)で数学を教授
明治4年(1871年)4月	38歳	神奈川県へ少属として任官
明治4年(1871年)12月1日	38歳	依願免少属

生い立ちと学業、業績

名は卯三郎、通称は一介、のち一と改名。福山藩士。安楽寺前(現福山市昭和町8番あたり)に住む。

文久2年(1862年)12月13日算術引立および洋学肝煎をつとめる。翌文久3年12月3日、師の佐藤保左衛門や奥山僊介・落合泉助・中山四郎右衛門らと算術世話取に任じた。

著書に『筆算指南速成』(佐藤保左衛門・村上常・佐々木万里・江間平一らと共著、整理社発行)がある。明治維新後は、自宅で数学を教授した。福田禄太郎氏やその姉も師事したという。

囲碁に秀でていた。(出典2)～(出典4)

誠之館所蔵品

管理No.	氏名	名称	制作／発行	日付
00275	佐藤保左衛門 佐々木万里 共著 荒木一	『筆算指南速成』	—	明治9年

資料提供: 荒木義則氏(平塚市、荒木一の曾孫)

出典1:『神奈川県史料(第8巻)』

出典2:『近世後期の福山藩の学問と文芸』、72頁、福山市立福山城博物館編刊、1996年4月6日

出典3:『福山藩の教育と沿革史 藩校から小学校まで』、133頁、清水久人著、鷹の羽会本部阿部正弘公顕彰会編刊、1999年8月20日

出典4:『郷賢録』、35頁、福田禄太郎著、福山城博物館友の会編刊、平成12年10月1日

2005年3月16日更新: 関連史料・出典・本文●2005年4月20日更新: 経歴●2005年9月22日更新: 所蔵品●2006年2月22日更新: 所蔵品●2006年6月1日更新: タイトル・所蔵品●2007年10月12日更新: 経歴●2008年2月14日更新: 経歴・本文●2009年8月13日更新: 誠之館所蔵品●